

# 81春闘4月決戦貫徹

三里塚・ジェット闘争貫徹 / 「国鉄35万人体制」粉碎

## 三月ジェット決戦勝利の地平を更に拡大しよう！

81春闘四月決戦段階の情勢は、いよいよ煮詰まってきた。動労千葉は「日刊動労千葉」オセロの号で既報のように、オ10回支部代表者会議で確認した方針のもとに、四月十八日、関東地調委のオ一回事情聴取、四月二十日、公労委のオ二回事情聴取において、ポイント賃金要求を基本とする要求の追い込みをはかる一方、各支部で執行委員会、取場集会、個別オルグ等、決戦ストへ向けた万全の闘争体制を確立しつつある。

### 81春闘にかけた敵の狙い

81春闘をめぐる情勢の核心は何か。それは、資本の側からの官民分断攻撃を粉砕し大中賃上げをかちとることを前提に、現下の83年改憲―軍事大圏化攻撃をうち破る階級情勢を、この81春闘を通して切拓いてゆくことである。

自民党・鈴木内閣の誕生以降、一段と激しくなった反動攻勢の意図するところは、自衛隊を「専守防衛」から攻撃型の軍隊に作りかえ、交戦権、徴兵制を認める憲法改悪を基軸に、国内における搾取と海外へ向けた侵略をもつて、アメリカ、ヨーロッパとの経済摩擦、エネルギー危機等に示される日本帝国主義の支配体制の危機を乗り切るということである。

これは、労働運動の解体―産報化なしには絶対にできないことであり、われわれは81春闘を通して、日本労働運動の戦力力をタタキつぶすというところに、敵の真の狙いがあることをはきりと見据えなければならぬ。

### 日本労働運動の惨状

総評をはじめとする日本労働運動は、このような敵の年来の攻撃意図に対して、「生産性に見合った賃金―経済整合性論」という敵のイデオロギーに屈服してしまつたが故に、JC・同盟に賃金決定の主導権を完全に奪い取られ、75春闘以降の「六連敗」に続き、この81春闘においても「管理春闘」と言われるほどの惨状に追い込まれているのである。

### 鮮明な「三里塚を闘う労働運動」の正義性

この惨状を突破する闘いの方向性は何か。

それは何よりも、83年改憲―軍事大圏化という敵の政治的基本路線と対決する労働運動の視点を確立することである。

動労千葉は、この間、この立場から、敵の軍事大圏化のための空老建設に対決する三里塚・ジミト闘争を「軍事大圏化のための国鉄」35万人体制粉碎を基軸とする反合・連取保安闘争と結合して闘いぬいてきた。

この動労千葉の「三里塚を闘う労働運動」の正義性は鮮明であり、三月決戦闘争が切り拓いた地平の上に、全国の戦闘的労働者の胎動が、81春闘勝利・日本労働運動の戦闘的再生へ向けて、あらゆる取場・生産点で開始されている。

### 合理化の尖兵・スト破り集団 「本部」反動分子の敵対粉碎！

敵・権力中枢は、81春闘を「ストなし」におさへ込み、そのことを通して「春闘解体、総評労働運動の解体、軍事大圏化のための産報化の完成」を推進しようとしている。

このような中で、「本部」反動分子は、「貨物安定宣言」路線をもって、軍事大圏化のための国鉄35万人体制を容認し、当局の武装親衛隊とします。また純化し、裏切者・土屋粹等を尖兵とした動労千葉破壊策動への衝動を強めている。

「ストなし春闘」を前提に、「富塚が悪い」「日共」「統一労組懇が悪い」と責任転嫁することを専らに自らは合理化の尖兵になり下り、鉄労以下のスト破り集団となつてしまつた「本部」反動分子のスト破り策動をうち破り、三月ジェット決戦闘争勝利の地平をさらに拡大する81春闘の高揚をかちとつてゆこう。

**81春闘勝利・スト前夜総決起集会へ！**  
4月22日・17時30分  
新小岩、津田沼、佐倉、館山、勝浦の各地点にて